

日本地域学会ニューズレター

平成 19 年 no.2

平成 19 年 9 月 10 日

目 次

I.	日本地域学会第 44 回年次大会 (平成 19 年 10 月 6 日-8 日) 参加登録について	... 2
II.	平成 19 年度日本地域学会総会 (平成 19 年 10 月 7 日) 出席のお願い	... 2
III.	理事会報告 平成 19 年度 第 1 回 (持回り)・第 2 回・第 3 回 (持回り)・第 4 回理事会	... 3
IV.	委員会報告 学会賞選考委員会 機関紙編集委員会 第 11 回～第 14 回についての報告	... 4
V.	『地域学研究』の科学技術情報発信・流通システム (J-STAGE) による電 子アーカイブ事業について	... 6
	第 44 回年次大会準備委員会からのお知らせ 会場付近図, 交通手段, 等	... 7

I. 日本地域学会第44回年次大会(平成19年10月6日-8日)

平成19年度(2007年度)日本地域学会第44回年次大会(実行委員長 細江 守紀 九州大学教授, 日本地域学会理事)が, 九州大学文系講義棟において下記要領で開催されます。

記

開催校: 九州大学

開催日: 2007年10月6日(土)-8日(月)

会場: 九州大学 文系講義棟

〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎 6-19-1

九州大学経済学部 細江 守紀

Tel: 092-642-2477, Fax: 092-642-2477

e-mail: hosoe@en.kyushu-u.ac.jp

参加費: 5,000円

懇親会費: 4,000円(希望者のみ)

弁当: 1,000円

ここに当日のプログラムが同封されていますので, 会員諸賢におかれましては同封の官製はがきで必要事項に回答のうえ(締切 9月25日), 奮って参加頂けますようご案内申し上げます。

また, 例年通り, 10月7日(日)には平成19年度総会および平成19年度日本地域学会賞授与式が行われますので, ご出席いただけますよう重ねてお願い申し上げます。

II. 平成19年度日本地域学会総会(平成19年10月7日)

日本地域学会 会員 各位

日本地域学会
会長 熊田 禎宣

本年度総会を下記要領で開催致しますのでご出席ください。なお, 欠席される場合には同封の官製はがきにて委任状をご提出下さい。

記

平成19年度日本地域学会総会次第

日時: 平成19年10月7日(日)13:00-14:00

場所: 九州大学 文系地区大講義室

〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎 6-19-1

九州大学経済学部 細江 守紀

Tel: 092-642-2477, Fax: 092-642-2477

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 来賓挨拶
4. 議題
 - 1) 新入会員・退会希望者の承認
 - 2) 平成18年度の収支決算の承認
 - 3) 平成19年度の収支予算の承認
 - 4) 第45回(2008年)年次大会の開催地, 開催校等の承認
 - 5) 第46回(2009年)年次大会の開催地, 開催校等の取扱いの承認
 - 6) 日本地域学会学会賞博士論文賞の呼称を定める規程制定の件
 - 7) その他
5. 報告
 - 1) 新入会員キャンペーンの継続
 - 2) 『地域学研究(37巻)』の編集
 - 3) RSAIの動向
 - 4) PRSCOの動向
 - 5) その他
6. 学会賞授与式
 - 1) 選考経過報告
 - 2) 学会賞授与
功績賞: なし
論文賞: 伊藤 薫
奨励賞: 梶井 昌邦, 朝日ちさと, 境 和彦
著作賞: 酒井 泰弘, 熊田 禎宣, 原科 幸彦, 萩原 良巳, 大内田 康徳
学位論文賞
博士論文賞: 野田 裕康, Akmam Wardatul, 阿久根 優子, 坂本 麻衣子, 川 晃央
修士論文賞: 古澤 慎一, 三橋 幹太
 - 3) 受賞者挨拶
7. その他
8. 閉会の辞

III. 理事会報告

平成 19 年度 第 1 回理事会 (持ち回り)

日 時: 平成 19 年 2 月 7 日 (水) 17:00

議題:

1. 規程制定の件

- 1) 日本地域学会学会賞学位論文賞規程
- 2) 日本地域学会機関誌等電子ジャーナル化に関する規程
- 3) 日本地域学会会計規程
- 4) 日本地域学会会計細則
- 5) 日本地域学会機関誌出版事業準備金に関する規程
- 6) 日本地域学会年次大会規程
- 7) 日本地域学会年次大会開催費等に関する規程

上記 7 件の規程を制定する件につき審議に付し、承認が得られた。

平成 19 年度 第 2 回理事会

日 時: 平成 19 年 4 月 22 日 (日) 13:00-15:00

場 所: 日本交通政策研究会 会議室

出席者: 熊田, 藤岡, 氷鮑, 有吉, 渋澤, 木南, 河野, 齊藤, 酒井, 多和田, 萩原, 細江, 光多, 三橋, 宮田の各理事 (ただし, 加賀屋, 青山, 浅見, 白井, 近藤, 高橋, 戸田, 原, 三友の各理事より委任状付託); オブザーバとして福井, 富山監事, 内藤学術委員会幹事, 森島広報副委員長; 内田, 小林, 櫻井の各幹事; 坂田事務局秘書

議題:

1. 新入会員・退会希望者の承認

前回理事会以降, 申込のあった 10 名の正会員 (個人会員) の入会と, 23 名の正会員, 1 団体の法人会員の退会希望を審議し, 次回総会に諮る事を諒承。

2. 平成 18 年度決算 (案) の審議と承認

氷鮑総務担当常任理事より報告と説明があり, 審議の後, 次回総会に諮る事を諒承。

3. 平成 19 年度予算 (案) の審議と承認

氷鮑総務担当常任理事より報告と説明があり, 審議の後, 次回総会に諮る事を諒承。

4. 日本地域学会学会賞学位論文賞の件

氷鮑総務担当常任理事より学位論文賞の規程に関する提案と報告があり, これを諒承。

5. AASSREC 協賛の件

熊田会長より協賛金に関して説明があり, これを諒承。

6. 「2014 年 IGU 地域会議招致委員会」委員派遣の件

氷鮑総務担当常任理事より, 藪田会員を推薦する旨の提案があり, これを諒承。

7. 日本地域学会機関誌出版事業準備金等に関する規程の改正の件

氷鮑総務担当常任理事より上記規程の一部改正について説明があり, これを諒承。

8. 第 45 回年次大会の開催地及び開催機関

氷鮑総務担当常任理事より東日本で候補を選定中であることが報告され, 今後の取扱いについては事務局に一任することを諒承。

9. 『地域学研究』セット販売の推進

10. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

11. その他

報告事項

1. 機関誌編集委員会報告

2. 第 16 回学会賞選考委員会報告

3. 平成 19 年度第 1 回理事会 (持ち回り)

4. RSAI の動向

5. PRSCO の動向

6. その他

平成 19 年度 第 3 回理事会 (持ち回り)

日 時: 平成 19 年 5 月 25 日 (金) 17:00

議題:

1. 国立大学教育研究評価委員会専門委員候補者の推薦の件

標記専門委員候補者として前年と同じく下記 10 名の理事を推薦する件につき審議に付し, 承認が得られた。

候補者: 熊田 禎宣, 藤岡 明房, 加賀屋 誠一, 氷鮑 揚四郎, 多和田 眞, 有吉 範敏, 白井 功, 近藤 光男, 齊藤 参郎, 宮田 譲

平成 19 年度 第 4 回理事会

日 時: 平成 19 年 6 月 24 日 (日) 13:00-15:00

場 所: 日本交通政策研究会 会議室

出席者: 熊田, 藤岡, 氷鮑, 有吉, 渋澤, 白井, 木南, 河野, 斎藤, 酒井, 多和田, 富川, 原, 細江, 光多, 三橋, 宮田の各理事 (ただし, 加賀屋, 青山, 浅見, 河村, 近藤, 高橋, 戸田, 萩原, 松本, 三友, 宮城の各理事より委任状付託); オブザー

バとして福井、富山監事、内藤学術委員会幹事、藪田学術副委員長；内田、櫻井、水野谷の各幹事；坂田事務局秘書議題：

1. 新入会員・退会希望者の承認

前回理事会以降、申込のあった13名の正会員（個人会員）の入会と、1名の正会員の退会希望を審議し、次回総会に諮る事を諒承。

2. 平成19年度会費未納者の措置

氷鉋総務担当常任理事より、会費未納者の措置について、入会推薦者を介して改善を図りたいとの説明があり、これを諒承。

3. 第44回年次大会並行セッション及びシンポジウムのプログラム編成

細江大会準備委員会委員長より、シンポジウムプログラム編成について説明があり、これを諒承。その他の並行セッションの編成については大会準備委員会と事務局に一任することを了承。

4. 『地域学研究』セット販売の推進

氷鉋総務担当常任理事より、各理事の本務校図書館等への販売協力の要請があり、これを諒承。

5. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

会員メーリングリストを利用して、キャンペーンを実施する提案があり、これを諒承。

6. その他

1) 機関誌編集委員会規程の件

氷鉋総務担当常任理事より、規程の変更について説明があり、これを諒承。

2) 機関誌表紙のデザイン

氷鉋総務担当常任理事より、機関誌の表紙等のデザイン変更について説明があり、これを諒承。今後の作業については、編集委員会で実施することを諒承。

報告事項

1. 『地域学研究』第37巻の編集

2. 平成19年度第3回理事会（持ち回り）

3. RSAIの動向

4. PRSCOの動向

5. その他

IV. 委員会報告

1. 学会賞選考委員会

学会賞選考委員会（委員長 酒井泰弘 滋賀大学 教授）では、慎重な審議の上、下記の会員の方々に平成19年度（第16回）日本地域学会学会賞を授与する事を決定しましたので報告致します。

功績賞：なし

論文賞：伊藤 薫（岐阜聖徳学園大学経済情報学部 准教授）

主題：戦後日本の国内長距離人口移動の決定因の変化 -純移動率に対する所得・気候の作用

奨励賞：梶井 昌邦（福岡大学経済学部 准教授）

主題：来街地ベースデータにもとづく都心部来街者の出向頻度特性ルールの抽出

奨励賞：朝日 ちさと（首都大学東京都市教養学部 准教授）

主題：環境に由来する飲料水質汚染リスクの事後的マネジメント

奨励賞：境 和彦（九州大学 専門研究員）

主題：環境事故と拡張責任 -油濁汚染損害に対する最適責任分担ルール-

著作賞：酒井 泰弘（滋賀大学教授） 著

タイトル：リスク社会を見る目

著作賞：熊田 禎宣（千葉商科大学教授） 編著

タイトル：わたしたちの環境学習

著作賞：原科 幸彦（東京工業大学大学院総合理工学研究科教授） 編著

タイトル：環境計画・政策研究の展開 -持続可能な社会づくりへの合意形成-

著作賞：萩原 良巳（京都大学防災研究所教授） 他著

タイトル：コンフリクトマネジメント -水資源の社会リスク-

著作賞：大内田 康徳（広島大学大学院社会科学研究科准教授） 著

タイトル：環境投資と規制の経済分析

学位論文賞

博士論文賞：野田 裕康（駿河台大学経済学部）

主題：ドイツ資産課税の現状とその展望に関する研究（日本大学提出、平成15年6月、博士（経済学））

博士論文賞：Akman Wardatul（University of Rajshahi, Department of Sociology）

主題：A policy-mix for supplying safe water to

arsenic-affected people in Bangladesh, with special reference to Meherpur district (筑波大学提出, 平成 15 年 3 月, 博士 (農学))

博士論文賞: 阿久根 優子 ((株)現代文化研究所)

主題: 日本の食品産業の産業集積と立地選択に関する実証分析 (筑波大学提出, 平成 16 年 9 月, 論文博士 (学術))

博士論文賞: 坂本 麻衣子 (東北大学東北アジア研究センター)

主題: 水資源開発における社会的コンフリクトマネジメントに関する研究 (京都大学提出, 平成 17 年 3 月, 博士 (工学))

博士論文賞: 川 晃央 (九州大学大学院経済学研究院)

主題: ネットワーク効果の経済分析 -航空市場を中心として- (九州大学提出, 平成 19 年 3 月, 博士 (経済学))

修士論文賞: 古澤 慎一 (新潟大学大学院自然科学研究科)

主題: 新潟県における農業農村整備に関する実証的研究 -土地改良の経済効果の評価と地域住民の意識構造の分析- (新潟大学提出, 平成 17 年 9 月, 農学修士)

修士論文賞: 三橋 幹太 ((株)NTT データ)

主題: 東京都における新エネルギー利用による環境負荷削減効果に関する研究 (筑波大学提出, 平成 18 年 3 月, 修士 (環境科学))

なお、授与式は先にご案内致しました今年度総会の席上とりおこなわれます。

2. 機関誌編集委員会

第 11 回 機関誌編集委員会

日 時: 平成 19 年 3 月 25 日 (日) 12:00-15:00

場 所: 日本交通政策研究会 会議室

出席者: 多和田, 松本, 氷鮑, 有吉, 木谷, 木南, 斎藤, 洪澤, 高橋, 中川, 藤岡, 光多, 熊田の各編集委員 (ただし, 加賀屋, 原, 三友委員より委任状付託); 内田, 小林, 櫻井, 水野谷の各幹事; 坂田事務局秘書

議題:

1) 『地域学研究』第 37 巻掲載候補論文の選考

レフェリー評価による第 37 巻の掲載論文の選考が行

われた。

2) 同上機関誌書評欄応募図書取扱い

3) その他

第 12 回機関誌編集委員会

日 時: 平成 19 年 4 月 22 日 (日) 11:00-12:30

場 所: 日本交通政策研究会 会議室

出席者: 多和田, 氷鮑, 有吉, 木南, 斎藤, 洪澤, 藤岡, 光多, 熊田の各編集委員 (ただし, 加賀屋, 木谷, 高橋, 原, 三友委員より委任状付託); 内田, 小林, 櫻井の各幹事; 坂田事務局秘書

議題:

1) 『地域学研究』第 37 巻掲載候補論文の選考

レフェリー評価による第 37 巻の掲載論文の選考が行

われた。

2) 同上機関誌印刷方針

3) 同上機関誌書評欄応募図書取扱い

4) その他

第 13 回機関誌編集委員会

日 時: 平成 19 年 6 月 24 日 (日) 11:00-12:30

場 所: 日本交通政策研究会 会議室

出席者: 多和田, 氷鮑, 有吉, 木谷, 木南, 洪澤, 原, 藤岡, 光多, 熊田の各編集委員 (ただし, 加賀屋, 斎藤, 高橋, 中川, 三友委員より委任状付託); 内田, 櫻井, 水野谷の各幹事; 坂田事務局秘書

議題:

1) 『地域学研究』第 37 巻掲載候補論文の選考

レフェリー評価による第 37 巻の掲載論文の選考が行

われた。

2) 同上機関誌印刷方針

3) 同上機関誌書評欄応募図書取扱い

4) その他

第 14 回機関誌編集委員会

日 時: 平成 19 年 8 月 5 日 (日) 13:00-15:00

場 所: 日本交通政策研究会 会議室

出席者: 多和田, 氷鮑, 加賀屋, 木南, 洪澤, 藤岡, 光多, 熊田の各編集委員 (ただし, 有吉, 木谷, 斎藤, 高橋, 原, 細江委員より委任状付託); 内田, 小林, 櫻井の各幹事; 坂田事務局秘書

議題:

- 1) 『地域学研究』第 37 巻掲載候補論文の選考
レフェリー評価による第 37 巻の掲載論文の選考が行われた。
- 2) 同上機関誌印刷方針
- 3) 同上機関誌書評欄応募図書取扱
- 4) その他

V. 『地域学研究』の科学技術情報発信・流通システム (J-STAGE) による電子アーカイブ事業について

1. 機関誌掲載論文等の電子アーカイブの公開に関するアンケートの実施について

[アンケートの趣旨と回答書様式]

日本地域学会では、機関誌編集委員会および理事会の決定に基づき、機関誌『地域学会年報』および『地域学研究』掲載論文等の電子アーカイブ化を推進し、今後インターネット等でこれらを公開する予定です。これは、「昨今の学術誌を取り巻く諸環境の急激な変化に機敏に対応することにより、本学会員等への学会サービスの向上を図る」という趣旨に基づくものです。

日本地域学会機関誌等の電子ジャーナル化に関する規程 (以下、J-STAGE 規程) に基づき、(独) 科学技術振興機構 (JST) の J-STAGE を利用した論文等の公開 (vol.35 より実施) の基本原則は、閲覧制限を設け、出版より 10 年を経過した論文等については、この閲覧制限を解除するというものです。

この度、本学会機関誌が平成 19 年度 JST アーカイブ事業対象誌に選定され、『地域学会年報』no.1 にまで遡り、『地域学研究』vol.34 までのすべての掲載論文等が電子アーカイブ化され、原則として、インターネット上に公開されることとなりました。

著作権法が平成 9 年 6 月に改正され、平成 10 年 1 月から施行されることにより、いわゆる有線、無線のインターネットを利用した自動公衆送信権および送信可能化権が著作権の一つとして規定されました。本学会機関誌掲載論文等の出版物の著作権の帰属については、平成 11 年 8 月に制定された日本地域学会出版物著作権規程により、原則として本学会に帰属することとなっていますが、機関誌編集委員会および理事会では、電子アーカイブ化された機関誌掲載論文等の出版物のインターネットによる

公開 (出版物等の自動公衆送信) については、その公開形態の特性に配慮し、当該掲載論文等の著者等の意向を出来るだけ事前に把握してこれを最大限可能な限り尊重し、さらに公開後も、当該著者の意向を尊重するための「電子アーカイブ等公開実施体制」を確立することにより、その運用に特に慎重を期することとしました。

つきましては、日本地域学会『地域学会年報』(no.1 から no.6 までのいずれかを対象) または『地域学研究』(vol.1 から vol.34 までのいずれかを対象) 掲載論文等 (以下、アンケート実施対象掲載論文等) の著者等におかれましては、下記回答書様式を参照の上、冒頭の趣旨にご賛同いただけるか否かの回答にご協力をお願いいたします。

記

機関誌掲載論文等の電子アーカイブ等の公開に関するアンケートへの回答書

回答書提出期限 平成 19 年 11 月 20 日

回答書提出先 日本地域学会 事務局 (fax 029-853-7221; sec@jrsai.envr.tsukuba.ac.jp)

回答者氏名:

住所:

連絡先:

tel:

fax:

e-mail:

回答 (この回答書の提出がなされない場合には、当該アンケート実施対象掲載論文等については、次の (1) に対する回答は、「はい」でなされているものとみなします)
(1) 機関誌掲載論文等の電子アーカイブの公開の趣旨に賛同しますか?

はい いいえ

(「はい」の場合には、アンケートはここで終了です)

(2) 下記のすべてのアンケート実施対象掲載論文等の電子アーカイブをインターネットに公開することを停止して欲しい。

[1] 著者名 (複数の場合にはすべて)、論文タイトル、掲載誌名 (地域学会年報 (no.1 から no.6 までのいずれか) または地域学研究 (vol.1 から vol.34 までのいずれか)), 巻数、号数 (地域学会年報については号数のみ、地域学研究 vol.1 - vol.19 までは巻数のみ、地域学研究 vol.20 からは、巻数、号数)、掲載開始頁-掲載終了頁

[2] (複数ある場合には、同様に、すべて列挙する)

以上

[電子アーカイブ等公開システム運用の骨子]

この詳細については、この段階では、正式には未決定ですが、以下のような柔軟な運用を考えています。

- a. 原則として、回答者は、(2) の (すべての掲載論文の) 著者の一人であることが必要です。
- b. 著者が複数あり、著者間で当該論文の電子アーカイブ公開に対する回答が異なる場合の取り扱いについては、別途、原則を設け、編集委員会の発議に基づく理事会の決定に従います。
- c. 著者が、既に故人である場合において、故人の意思を何らかの形で確認できる場合には、故人の最近親の家族またはこれに準ずる者あるいは機関が、故人に代わって上記アンケートの回答書を提出することが出来ます。ただし、この取り扱いについては、上記 b. の取り扱いに準じます。
- d. 上記アンケートの回答書提出期限は (また、今後、この種のアンケートが、適宜実施されますが、その回答書提出期限は)、本学会が、その事業として行う「掲載論文等の電子アーカイブの公開」を速やかに行うためのものです。当該回答書提出期限後も上記様式等に従う回答書の受付を本学会事務局で随時行います。
- e. 一端、公開が停止された電子アーカイブの公開を再開することを希望する場合には、上記原則 a. または c. に準じて、著者等が、本学会宛に、随時、要請することは出来ませんが、その停止の理由、事情にかかわらず、合理的な理由

もしくは根拠が無い限り、原則として本学会はその要請には応じません。

- f. J-STAGE 規程に基づき、J-STAGE 上の機関誌掲載論文等の電子アーカイブには、10 年間の閲覧制限を設けます。今後、その 10 年が経過することにより、閲覧制限を設けずに当該電子アーカイブをインターネット上に公開する場合には、順次、事前にかつ適当な時期に、上記アンケートの趣旨に準じるアンケートを実施します。
- g. 上記アンケート実施対象掲載論文等の中には (当該事業は J-STAGE 事業とは別個のものですが)、J-STAGE 規程との整合性をもたせるためには (出版後、10 年を経過していないため)、著者の意向にかかわらず、閲覧制限を設けるべきものがあります。現在、JST に対して、これについての閲覧制限を設定可能な形での当該事業の運用がなされるか否かの問い合わせを行っています。もしも設定可能な場合には、上記アンケートに対する回答の如何に関わらず、(J-STAGE 規程が優先し) 出版後 10 年を経過しない当該アンケート実施対象掲載論文等に対しては、閲覧制限を設けて自動公衆送信は行わないことになります。したがって、その場合には、当該アンケート実施対象掲載論文等が出版後 10 年を経過する段階で、それらを対象として上記 f. に準じるアンケートを実施します。もしも設定不可能な場合には、当該事業の趣旨に従い、かつ上記アンケートに対する回答等を尊重して当該電子アーカイブの公開を実施します。